

海南市地域公共交通計画（案）に対する意見募集実施結果について

「海南市地域公共交通計画」を策定するにあたり、広く市民の皆様からご意見をお聴きするため、令和5年12月1日（金）から12月21日（木）までパブリックコメントを実施した結果は、下記のとおりです。

1. 提出された意見数

・持参によるもの	1通	・郵送によるもの	0通
・ファックスによるもの	1通	・電子メールによるもの	1通

2. 提出された意見主旨とそれに対する市の考え方

(1) パブリックコメントの実施に関する意見

市報で公共交通について意見を募集していると知り、ホームページで計画（案）を探しました。ところが、たいへん見つけにくく驚いてしまいました。市報にはQRコードがあり、そこからすぐに行けましたが、あの長い計画（案）を私はスマホで読むことはできません。ところが、パソコンからはたどり着きにくい。もっと見つけやすく、意見を述べやすくしていただきたい。

(1) に対する市の考え

今後、わかりやすく掲載するよう留意します。

(2) 計画書に関する意見

計画（案）が大変長い。50ページ以上もあります。概要版でも作り、だれにでもぱっとわかるようにしてほしい。

(2) に対する市の考え

計画策定の目的をはじめ、本市の現状や課題の整理、基本方針や施策など、計画に必要な項目を取りまとめた結果、現在の内容となったものです。できるだけ詳しくお伝えするため策定したものでありますので、ご理解ください。

(3) 公共交通空白地に関する意見

コミュニティバス路線があるからという理由で、単純に空白地域から外さないでいただきたい。一日当たり本数が少なく、利用者がほとんど無い地域や駅・バス停までの所要時間が一定かかる地域も考慮していただきたい。

空白地域に近い状況も含めれば、もっと広がるのではないのでしょうか。

(3) に対する市の考え

本計画では、鉄道・バス路線網が及んでいない地域を公共交通空白地と整理していますが、市内には、公共交通空白地には該当しないものの、便数が少ないなど、鉄道や民間路線バス沿線等と比較し、公共交通機関の利用が制限される地域がございます。

今後、人口減少による利用者の減少や、公共交通機関の運転手不足が深刻化しても、できる限り、公共交通空白地の拡大を抑制できるよう策定する計画でありますので、ご理解ください。

(4) 地域公共交通に係る方針等に関する意見

- ・計画(案)と言いながら、あまり具体的なことが盛り込まれていなくてがっかりしました。現行をちょっと変えるぐらいしか考えていないのかと感じました。
- ・私は現在車で移動していますが、先々運転ができなくなったとき、どうしたらいいのかと心配になります。気軽に買い物に行けないようでは日々の暮らしに困ります。長生きしても面白いことがないようではつまりません。もっと暮らしに密着した公共交通を作り直していただきたいと思います。

(4) に対する市の考え

高齢化社会における地域公共交通は、免許返納後の高齢者の生活を視野に入れた役割を担うことに期待する声が寄せられる一方で、近年では、人口減少や新型コロナウイルスの影響等により、路線バスの減便やタクシー事業者の営業所廃止など、厳しい現実に直面しています。

今後、人口減少や高齢化は一定程度進行すると見込まれ、これらに伴い、利用者数の減少や運転手等の担い手不足も同様に進行することが想定されますが、こうした現実に向き合いながらも、可能な限り、地域公共交通を維持していくことができるよう、本計画を策定するものです。

(5) 具体的な交通手段・施策に関する意見

コミュニティバス

岡田を通過して海南市医療センターに向かうコミュニティバスを、室山団地(室山公園前)に迂回させてはどうでしょうか。3分もかかるでしょうか。

デマンドタクシー

- ・ドアツードアのデマンド型乗り合いタクシーに正面から取り組むべき。取り組みの入り口になるのは「公共交通協議会」の合意を取り付けること。市として「公共交通協議会」のテーブルに乗せて、市民の目に入る場所での検討に入るべき。
- ・一日当たりの本数を飛躍的に増やさないと利用者が増えない路線は廃止し、デマンドタクシーへ転換する方が良いのではないのでしょうか。利用者の極端に少ない路線を維持するための費用を別の方策に充てる方が良いのではないのでしょうか。今後、新路線を運用するならば、地域住民、交通事業者との十分な協議をお願いしたい。
- ・現行の実証運行の結果をもとに全面的な見直しをお願いしたい。もっと利用者が増える方策を考えていただきたい。
- ・運行本数、曜日、時間帯について利用者の要望にそって改善をお願いしたい。
- ・運行ルート(市内どの範囲からどこまで)について提示していただきたい。
- ・停留所から停留所まで、または自宅から目的地までか、提案できる方策をお示しいただきたい。
- ・現行から見直した場合の運賃の負担について利用者の要望にそって考えた場合の運賃の概算が現実的に負担できるものかどうか提示していただきたい。
- ・下津町内では4つのコミュニティバスを走らせてもらっていますが、どれも民間バスが廃線になった時の代替えとして走らせているものです。この中で鰯川線はそれなりの乗客があるようですが、仁義線、大崎線、戸坂線の3路線は乗客数が少ないようです。この地域に公共交通が必要とされていないわけでもないのに乗客数が少ないのは、時刻表的にも行先にしても住民の要望をくみ取れていないからだと思います。この3路線はコミュニティバスではなく、すべてデマンドタクシーにしてもっと住民の要望に応えられるように変えてほしいと思います。バス停、時刻表をもっときめ細かにして「高齢者や移動手段を持た

ない交通弱者が、地域公共交通を利用して、ストレスなく外出できる環境を整えていく」ようにしてほしいと思います。それは、「既存のコミュニティバスサービスの改善や、地域公共交通の待合環境・乗継環境の改善」では間に合いません。

現在、大窪、杓掛地域から仁義線につなぐ形でデマンドタクシーの実証実験が行われていると聞きますが、住民の要望には応えられないのではないのでしょうか。仁義線自体がもう不便なのです。それにつないだところで、公共交通空白地域をつぶしたという満足にしかならないのではないですか。もっと、住民の声を聞いてほしいと思います。

- ・デマンドタクシーでむずかしいのは予約だと思います。特に帰りは。買い物ならば、帰りの予約の時間に合わせることもできるかもしれませんが、医療機関の場合終わる時間がわからないので予約しにくいというのです。どうすればいいのか各医療機関の実情なども聞くなど工夫がいると思います。現在でも、行きはコミュニティバスを使っても買い物した帰りはタクシーだということを聞いたことがあります。タクシーはなくてはならないものですが、年金生活者にはやっぱり大変だという声も聞きます。

タクシーチケット

すぐにできて、必ず喜ばれるのは、タクシーチケットの配布です。紀美野町ではできています。「家族に運転免許取得者がいない人限定」とか「半額補助、上限〇〇円」など、いろいろな方法があると思います。

(5) に対する市の考え

本計画では、地域公共交通を維持していくため、コミュニティバスの路線変更や、デマンドタクシーの実証運行など、具体的な取組を例示しています。

公共交通に対しては、様々なご意見、ご要望があることは承知しておりますが、利用者の減少や運転手の担い手不足、路線バスの減便やタクシー事業者の営業所廃止など、公共交通を取り巻く現状は非常に厳しく、現実的にご意見等を具現化することは難しい状況です。

計画に記載の各取組は、地域公共交通協議会において、利用者や地域住民、交通事業者等の意見をはじめ、警察署等多くの関係機関との協議を経て具体化する必要がありますので、ご理解ください。